

第43回 日本化粧品学会 プログラム

〈かたちの科学〉

～美しく健康な皮膚を目指して・ミクロからマクロまで～

日 時：2018年6月29日（金），30日（土）
場 所：有楽町朝日ホール
東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン 11F Tel:03-3284-0131
交 通：JR（山手線・京浜東北線）有楽町駅
東京メトロ（有楽町線）有楽町駅
東京メトロ（丸ノ内線・銀座線・日比谷線）銀座駅 下車徒歩1～2分
主 催：日本化粧品学会
協 賛：日本化粧品工業連合会
会 頭：石河 晃（東邦大学）
副 会 頭：見坊行広（岩瀬コスファ）
大会参加費：会 員（事前）：13,000円，会 員（当日）：15,000円
：非 会 員（事前）：18,000円，非会員（当日）：20,000円
：学生会員（当日のみ・要旨集込）：1,000円（要学生証提示）
：学生非会員（当日のみ・要旨集込）：2,000円（要学生証提示）
懇 親 会：2018年6月29日（金）18：30～ 会費 8,000円
LEVEL XXI（レベル21）
東京都千代田区大手町2-2-2 アーバンネット大手町ビル21F
参 加 予 約：Web受付 <http://www.jcss.jp/event/>
2018年3月下旬～2018年5月22日（火）締切
問 合 せ 先：日本化粧品学会大会事務局
〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター
Tel:03-5389-6496 Fax:03-5227-8632 E-mail:jcss-desk@bunken.co.jp

2018年6月29日（金） 1日目

- 10:00～10:05 開会挨拶 会頭 石河 晃（東邦大）
総合司会：猪股慎二（資生堂）
- 10:05～10:35 会頭講演 座長：中川晋作（大阪大）
皮膚のかたちの科学～ミクロからマクロまで～
石河 晃（東邦大）
- 10:35～11:25 一般研究演題（I） 皮膚生理（表皮） 4題（発表8分，質疑4分）
座長：常深祐一郎（東京女子医大）
木曾昭典（丸善製薬）
- R01 アトピー性皮膚炎における角層健全性指標セラミド NP/NS
○横瀬うらら，石川准子，安田由夏，辻村 久，村瀬孝利（花王・研）
- R02 細胞間脂質のラメラ構造へのセラミド組成の影響の分子動力学シミュレーションによる検討
○中村文彦，横瀬うらら，石川准子（花王・研）
- R03 細胞間脂質ラメラ構造形成におけるスフィンゴ脂質相互作用の検証
○表 萌々¹，新井裕子¹，太田 昇²，石田賢哉³，小幡誉子¹（¹星薬科大，²SPRING-8/JASRI，³高砂香料工業）
- R04 細胞外カルボニル化タンパクは表皮細胞のトランスグルタミナーゼ-1の発現を抑制する
○行方優子¹，加藤亜希子¹，杉原 守¹，山脇由美子²，正木 仁²（¹ちふれ化粧品，²東京工科大院）

- 11:25~13:25 昼休み (120分) 下記ポスターセッション①を含む
- 12:15~13:15 ポスターセッション① (以下の4演題の発表者は、ポスター前で、1時間、責任在席)
- P01 マイクロ波分解-誘導結合プラズマ質量分析法 (ICP-MS) による化粧品中の微量金属不純物分析法の検討
○久保田領志,秋山卓美,五十嵐良明(医薬品食品衛生研)
- P02 3次元培養ヒト皮膚モデルを用いた種々医薬部外品製剤からの有効成分の皮膚透過性評価
○関口翔平¹,野地本和孝¹,中山克大¹,倉持隆則¹,武内博幸¹,平森基起¹,渡辺 新²,藤堂浩明²,杉林堅次²(¹ローマン工業,²城西大・薬)
- P03 フラーレン誘導体の遺伝毒性及び細胞毒性の評価
○橋本亜紀子,高村岳樹(神奈川工科大・工・応用化学)
- P04 指モデルを用いたクリーム剤の皮膚への塗擦
○設楽史央里¹,佐藤真由子¹,加藤英資²,坂田 修^{1,2},橋崎 要¹,田口博之¹,藤井まき子¹
(¹日本大・薬,²コーセー・研)
- 13:25~13:35 理事長挨拶 石河 晃 (東邦大)
- 13:35~14:15 一般研究演題 (II) 有効性・評価法 I 3題 (発表8分, 質疑4分)
座長: 小幡誉子 (星薬科大)
前澤大介 (癸巳化成)
- R05 O/W エマルションからの薬物の *in silico* 皮膚透過性予測
○藤堂浩明¹,田村麻衣¹,車田深雪¹,内田崇志²,高山幸三¹,杉林堅次¹(¹城西大・薬,²花王)
- R06 赤外分光による角層中水分量変動の非侵襲評価法の開発
○工藤幸会^{1,2},中嶋 悟²(¹多木化学,²大阪大学院・理・宇宙地球科学)
- R07 生体高分子の経皮促進キャリアとしての逆ミセル
○後藤雅宏¹,小坂秀斗¹,中田孝広²,上田太郎²,松岡信也²(¹九州大学院・工研,²小林製薬・中央研)
- 14:15~14:55 一般研究演題 (III) 有効性・評価法 II 3題 (発表8分, 質疑4分)
座長: 笠 明美 (コーセー)
植田光一 (東洋ビューティ)
- R08 太陽に含まれる光線が弾力線維形成へ及ぼす影響とビタミンC誘導体“VC-3G”の改善効果の検証
○富山 愛¹,中村清香¹,平 徳久¹,勝山雄志¹,正木 仁²,吉岡正人¹
(¹成和化成,²東京工科大・応用生物)
- R09 蜜花豆抽出物のヒト皮膚線維芽細胞でのコラーゲン分解酵素発現抑制作用
○草川太郎¹,石田和人¹,石田有希子²,斉藤憲二²,昆 良子²,Binti Jasni Nur Nadia²,坂下真耶²,内田良一²,金 武祥² (¹フューチャーラボ,²ファーマフーズ)
- R10 イネから生物学的に画分されたペプチドの生理活性評価
○鈴木達也,佐伯裕史,宮下忠芳(ディーエイチシー)
- 14:55~15:10 休憩 (15分)
- 15:10~15:55 特別講演 I 座長: 石河 晃 (東邦大)
化粧品皮膚炎~皮膚検査をどう活かす~
関東裕美 (東邦大)
- 15:55~16:55 一般研究演題 (IV) 安全性 5題 (発表8分, 質疑4分)
座長: 林 伸和 (虎の門病院)
田中 浩 (日本メナード)
- R11 複数の *in vitro* 試験を組み合わせた皮膚感作性強度予測モデルの検証
○豊田明美,笠原 薫,杉山茉希,野村浩一(ポーラ化成工業)

- R12 パラベンの感覚刺激に対するブロッコリースプラウトエキスの有用性検討
○二ノ宮理恵,西島貴史,坂口 斉(花王・安全性科学研)
- R13 化粧品使用における毒性学的懸念の閾値
○吉田光輝,相葉摩紀,上月裕一(資生堂・グローバルイノベーションセンター)
- R14 フェイシャルスキンケアの皮膚に対する影響試験
○鷺崎久美子¹,関東裕美¹,伊藤 崇¹,野村征司²,石河 晃¹(¹東邦大・皮膚(大森),²マルホ)
- R15 SSCI-Net 症例情報から見えてきた香粧品の皮膚安全性(2018)
○松永佳世子^{1,2},久野千枝²,枝松栄子²,鈴木加余子^{1,3},矢上晶子^{1,3},杉山真理子^{1,4},片山一朗^{1,5},
若林正浩^{1,6},藤井まき子^{1,7},林 秀樹^{1,8},山本順二^{1,4},張山幸江¹,籠橋雄二¹
(¹ SSCI-Net,² 藤田保健衛生大・医・アレルギー疾患対策医療,
³ 藤田保健衛生大・医・総合アレルギー,⁴ 日本化粧品工業連合会,⁵ 日本皮膚科学会,
⁶ 日本臨床皮膚科医会,⁷ 日本香粧品学会,⁸ 日本ヘアカラー工業会)

18:30～ 懇親会 (LEVEL XXI)

2018年6月30日(土) 2日目

- 9:30～10:00 総会
- 10:00～10:15 第8回優秀論文賞授賞式・受賞講演
- 10:15～11:05 一般研究演題 (V) 皮膚生理 (真皮) 4題 (発表8分, 質疑4分)
座長: 大島 宏 (ポーラ化成工業)
瀬川憲人 (セニルラボラトリーズ)
- R16 エラスチン結合タンパク質が真皮細胞外マトリックス構造の収縮に及ぼす影響
○足立浩章^{1,2},村上祐子¹,田中 浩¹,長谷川靖司^{1,3},中田 悟¹,平嶋尚英²
(¹ 日本メナード化粧品,² 名古屋市立大院・薬,³ 名古屋大・メナード協同研究)
- R17 iPS細胞から線維芽細胞への分化誘導検討及び特性評価
○高橋由佳子¹,中西美樹¹,山越大規¹,菅野浩平¹,成 英次¹,加治和彦^{1,2}
(¹ コーサー・研,² 日本薬科大・生命医療薬)
- R18 低線量UVA反復照射により誘導した真皮線維芽細胞光老化モデルの解析
○吉本 聖¹,柳 大樹¹,八木政幸²,市橋正光³,安藤秀哉¹
(¹ 岡山理科大院工,² ロゼット,³ 同志社大・生命医科)
- R19 紫外線照射による正常ヒト皮膚由来線維芽細胞のカルシウム集積とその生成機序
○山田勝久¹,柴田雄次¹,山本 樹¹,野村道康¹,今田千秋²(¹ ディーエイチシー,² 東京海洋大)
- 11:05～11:55 一般研究演題 (VI) メラニン・サンスクリーン 4題 (発表8分, 質疑4分)
座長: 世喜利彦 (上武大)
高橋慶人 (花王)
- R20 各種サンスクリーン剤の実使用量調査 (第2報)
○丸目 愛¹,倉持正博¹,川島 眞²(¹ ビューティアンドヘルスリサーチ,² 東京女子医大)
- R21 α -トコフェロール脂肪酸エステルの色素沈着抑制剤としての可能性
○水谷多恵子¹,大澤鈴菜¹,遠藤香凜¹,宮口雄人²,岡野由利¹,正木 仁¹
(¹ 東京工科大・応用生物,² 三菱ケミカルフーズ)
- R22 老人性色素斑におけるメラノサイトとケラチノサイトの3次元構造解析
○水谷友紀¹,山下美香¹,橋本理恵¹,厚木 徹¹,笠 明美¹,林 昭伸¹,力丸由起子²,太田啓介^{2,3}
(¹ コーサー・研,² 久留米大・医・解剖・顕微解剖・生体形成,³ 久留米大・医・先端イメージング研)
- R23 透過電子顕微鏡を用いた毛髪内メラニン顆粒の解析
○中村友紀¹,飯尾栄里¹,山田裕美¹,今井健仁¹,中野 隆²(¹ ホーユー・総合研,² 愛知医科大・医)

11:55～13:55 昼休み (120分) 下記ポスターセッション②を含む

12:45～13:45 ポスターセッション② (以下の4演題の発表者は、ポスター前で、1時間、責任在席)

P05 新規近赤外線防御素材の開発

○中西育久¹、堂元貴弘¹、吉田遼平²、橋本充央²、川島 眞³ (¹サンスター、²堺化学工業、³東京女子医大)

P06 過酸化水素処理による培養線維芽細胞の黄色化に及ぼす抗酸化剤の影響

○柳 大樹¹、吉本 聖¹、吉田萌生¹、八木政幸²、山下裕司³、平尾哲二³、市橋正光⁴、安藤秀哉¹
(¹岡山理科大学院・工・応用化学・安藤研、²ロゼット、³千葉科学大・薬、⁴同志社大・生命医科)

P07 乳酸菌 H61 株由来成分の色素沈着抑制作用

○関口竜馬、遠藤香凜、水谷多恵子、岡野由利、正木 仁(東京工科大院)

P08 シャルドネ果実エキスの体内時計に対する作用と美容効果

○伊藤賢一、濱田朋志、榎谷晃明、若松香苗(一丸ファルコス)

13:55～14:40 特別講演II

座長：見坊行広 (岩瀬コスファ)

シマウマの模様をヒョウ柄に変える方法
近藤 滋 (大阪大)

14:40～15:20

一般研究演題 (VII) 有効性・評価法III

3題 (発表8分、質疑4分)

座長：藤堂浩明 (城西大)

榎本康孝 (みづほ工業)

R24 両親媒性キトサン誘導体配合製剤の角化改善効果

○四宮未郷¹、情野治良¹、廣田綾子¹、濱田和彦¹、水谷多恵子²、正木 仁²
(¹ピアス・中央研、²東京工科大・応用生物)

R25 ハンドマッサージ効果の画像診断学的評価の試み

○奥田逸子^{1,2}、吉岡直紀¹、山崎千佳子³、鳥越留美子³、秋田恵一²
(¹国際医療福祉大・三田病院放射線診断センター、²東京医科歯科大・臨床解剖、³キヤノンメディカルシステムズ・首都圏支)

R26 スキンケア化粧品の愛用意識に関するfMRIを用いた認知神経科学的研究

○磯部寛子¹、則内まどか²、白土真紀¹、瀬戸山三佳¹、八巻智史¹、平尾直靖¹、菊池吉晃²
(¹資生堂・グローバルイノベーションセンター、²首都大東京)

15:20～15:35 休憩 (15分)

15:35～17:35 シンポジウム 細胞、皮膚、顔のかたち

座長：須賀 康 (順天堂大)

芹澤哲志 (ライオン)

1. 皮膚の瑞々しさを作り出す表皮細胞のかたち
久保亮治 (慶応大)
2. ほくろの色とかたち～子供と大人でこんなに違う！～
田中 勝 (東京女子医大)
3. ヒトの顔に関する多様性について～形態学的な観点より～
島田和幸 (東京医大)
4. 女子大生による顔のイメージ評価
伊佐治せつ子 (元武庫川女子大)
5. 総合討論

17:35～

閉会挨拶 次期会頭 中川晋作 (大阪大)

総合司会：猪股慎二 (資生堂)